

【めざす子ども像】 ○命を大切に、思いやりのある子ども ○最後までやりぬく子ども ○自ら学び、考え、行動する子ども	心豊かでたくましい十市の子どもの育成 とおちっ子	南国市立十市小学校 学校だより NO. 4 令和5年9月15日(金)
--	------------------------------------	---

2学期が始まりました

今年の夏も相変わらずの猛暑、各地での線状降水帯による豪雨による大きな災害、一方、新潟では雨が降らず渇水によって農作物が大被害を受けるという異常な気候でした。連日 32 度を超える猛暑日も、今週に入りやっと朝晩が少し過ごしやすくなったかなと感じていますが、日中は、まだまだ気温が 30 度を超える暑い日が続いています。引き続き熱中症等、体調には十分お気を付けください。

そんな夏休み中、子どもたちは、数年前のような学校のプール開放もなく、昨年、一昨年と同様いつもと違う休みを過ごすこととなりました。幸い、夏休み中に、子どもたちの怪我や事故の報告もなく、何よりもほっとしているところです。

9月1日の始業式も熱中症防止のため体育館には集まらず、全校放送のかたちで行いました。子どもたちの顔を見ながら話ができず残念でしたが、その後、教室を回りながら、子どもたちの様子を見ました。久しぶりに会った子どもたちは、とても落ち着いた様子でした。また、背がずいぶん伸びて、急にお兄さん、お姉さんになった子どももいて、毎年のことながら子どもの成長には驚かされています。

さて、現在、全国的に新型コロナウイルス、さらにはインフルエンザが流行しています。本校にも、新型コロナウイルスやインフルエンザに感染した子どもが若干名います。幸いにも、今のところ校内での流行の兆しはありませんが、今後とも、手洗い、うがい、換気等の基本的な感染対策は行って参ります。

運動会の練習、頑張っています

10月1日(日)の運動会に向けて、子どもたちは、毎日練習に励んでいます。ただ、心配されるのが熱中症です。運動場、体育館に関わらず、水筒を持参し、練習の途中では必ず給水タイムを設けるようにしています。また、練習中はもちろん練習前後も、担任が子どもの体調をしっかりチェックするようにしています。

そこで、保護者の皆さんに以下の点をお願いします。

※練習後は非常に汗をかきます。必ず、汗拭き用のタオルを持たせてください。

※水筒の飲み物の量が少ない子どもがいます。飲み物がなくなり、水道水を飲んでいる子どももよく見かけます。もちろん、水道水は飲料水として適したものですが、できれば、大きめの水筒にたっぷりの飲み物を持たせてください。飲み物は、汗で失ったミネラルもとれる「麦茶」が最適だと言われています。スポーツ飲料には糖分が含まれていますので、その点、気を付けてください。

体操服の注文は2社から選択できます

本校の体操服は、現在、「高知用品」と「稲門スポーツ」の2社が販売を行っています。

「高知用品」は注文票による注文なので、注文票に代金をそえて担任まで届けてください。

「稲門スポーツ」はネットでの注文となっており、販売ページで購入、ネット決済となります。

2社とも注文後数日で商品が学校に届きますので、お子さん便でお渡しすることになります。

「高知用品」の注文票、及び「稲門スポーツ」の販売ページQRコード付きチラシが必要な場合は、直接、販売業者に連絡するか、学校までお問い合わせください。なお、業者により、素材や値段が違いますので、その点ご注意ください。

全国学力・学習状況調査結果

6年生対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本県は、新聞やテレビも報道されたように、小学校は国語（全国比+1.8P）、算数（全国比+2.5P）と全国平均を超える結果となっています。

本校6年生は、国語（全国比+2.8P）・算数（全国比+5.5P）と全国平均、県平均ともに上回ることができています。また、近年の本校の特徴として、高学年になるにしたがって学力の向上が見られるという良い傾向になっています。しかし、各領域を分析すると不十分な分野も見られ、今後の課題も明らかになっています。さらに、全体の平均点が上がっている中で、個々の子どもたちに目を向けると、苦手な分野に苦戦している子どもたちも見られます。したがって、今後は、全体的な学力の底上げをしていくためにも、苦戦している子どもたちにさらに視点を当てて学力保障をしていく手立てを行っていきたいと思います。

一方、児童意識調査では、特に、「先生がよいところを認めてくれる 94.4P（全国比+4.6P）」「わかるまで先生が教えてくれる 98.1p（全国比+5.1P）」から、教職員とのより良い関係意識が高く、教職員全員で意識している「教職員の元気で子どもたちを元気に！」「子どもに寄り添った姿勢で！」が子どもに伝わっていることがわかりとてもうれしく思いました。

「困っている人がいたら助ける 96.2p（全国比+4.6p）」「いじめはどんな理由あってもいけない 100p（全国比+3.1p）」と、規範意識もしっかり身につけていることもうかがえました。

「学校に行くのは楽しい 92.5p（全国比+7.2p）」「友達関係に満足※強い肯定 73.6p（全国比+10.4p）」と、長いコロナ禍の中で、全国的に子ども同士の関係が希薄になってきたと言われている世の中においても、本校では、子どもたち同士の関係の良さが伺われました。

「地域や社会をよくするために何かしたい 96.2p（全国比 19.4p）」と、地域や社会の一員としての意識も高いことが伺われました。

基本的な生活面でも「毎日朝食を食べる 98.2p（全国比+4.3p）」と、非常に高い摂食率で、保護者皆様のご協力が伺えます。

学習に関する意識では「自分で計画を立てて勉強をする 79.2p（全国比+8.5p）」「読書が好き 79.2p（全国比+7.4p）」「課題に自分で考え自分から取り組む 86.8p（全国比+8.0p）」「学んだことをほかの学習に生かす 92.5p（全国比+10.6p）」「自分が努力することを決めて取り組む 90.5p（全国比+14.8p）」「グループで話し合う活動に取り組む 92.4p（全国比+8.8p）」「国語が好き 83.0p（全国比+21.5p）」「算数が好き 71.6p（全国比+10.2p）」「英語が好き 90.6p（全国比+23.3）」と、自分が主体者となった学習に取り組んでいることが伺われました。

一方、全国平均値より低いものとしては、

「毎日、同じくらいの時刻に寝る 75.4p（全国比-5.6p）」

「自分には良いところがある 79.2p（全国比-4.3p）」

「生活の中で幸せな気持ちになる 86.8p（全国比-4.2p）」と、自尊感情や普段の生活における幸福感に若干課題があることが分かりました。これは、学校だけの取組では克服できないものかもしれません。今後も、保護者の皆さんと連携しながら改善していきたいと思います。

なお、今回の調査結果から明らかになった課題については、今後具体的な取組を進め、一人一人の基礎・基本の定着のためにさらなる指導の改善を図っていきます。また、教科の力だけでなく意欲や自尊感情、人権意識、地域の一員としての意識等もさらに高めるよう、これからも教育活動全般を通して取り組んでいきます。今後とも、ともに子どもたちを見守り、健全に育ていくために保護者、地域の皆さまのご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

----- 切り取り線 -----

とおちっ子No.4の返信 _____ 年 組 _____ 児童名 _____ ※ご意見、感想等あれば・・・